

1.調査概要

◆調査目的

福島第一原子力発電所 第1号機 原子炉建屋内部における建屋躯体（主に壁や柱など）の損傷状況の把握を目的とする。

◆実施内容

原子炉建屋内は高線量のため、被ばく線量低減に配慮した調査方法として、カメラ・照明を取り付けた昇降装置を機器ハッチ開口下の1階床に設置し、遠隔操作で周囲の建屋躯体を撮影する。

◆調査対象

1号機原子炉建屋 機器ハッチ周りの建屋躯体（2階～4階）

◆実施予定日

9月19日（木）

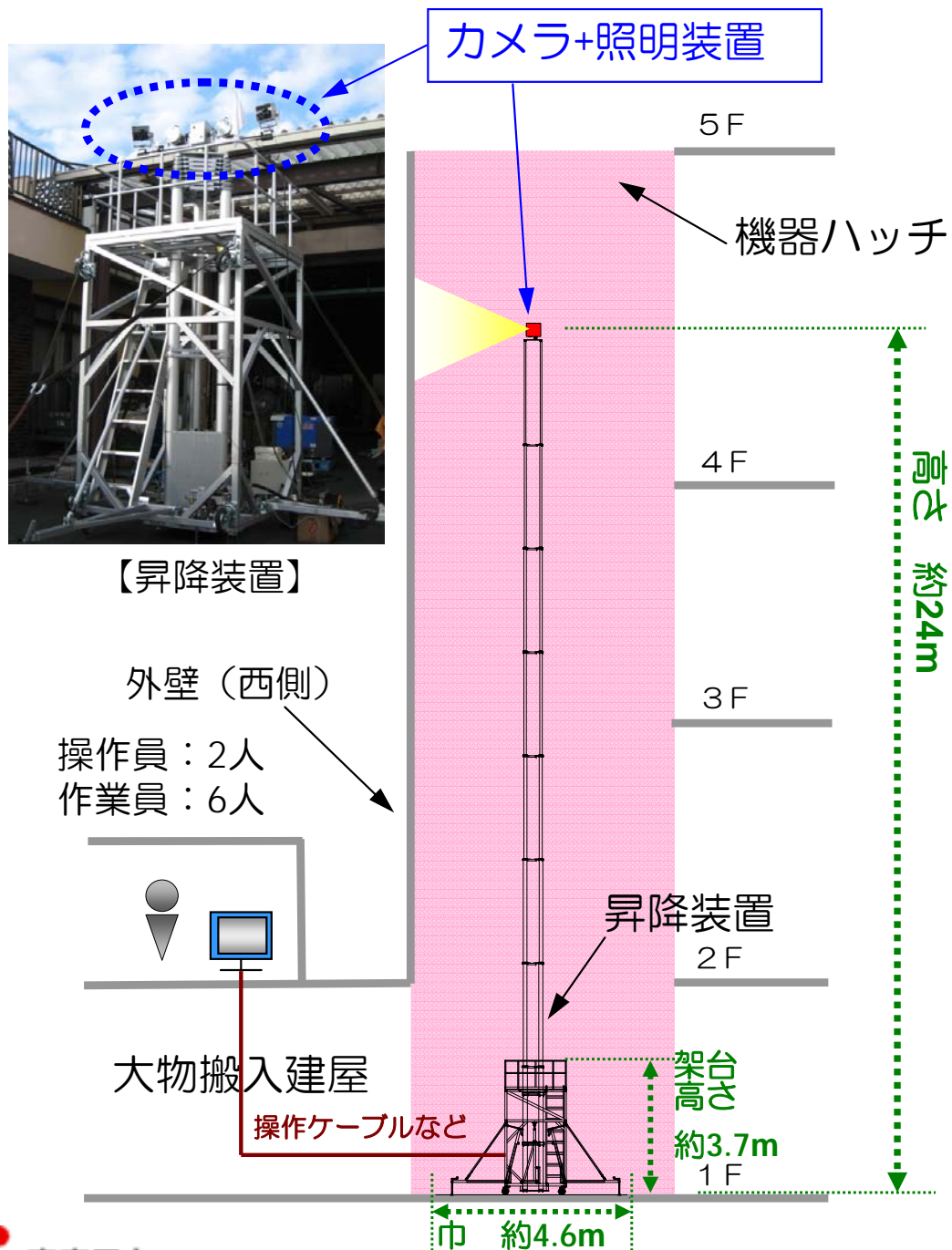
◆調査体制（予定）

当社社員：2人 協力企業：8人

◆計画線量

2.7 mSv/日（最大）

2.調査イメージ

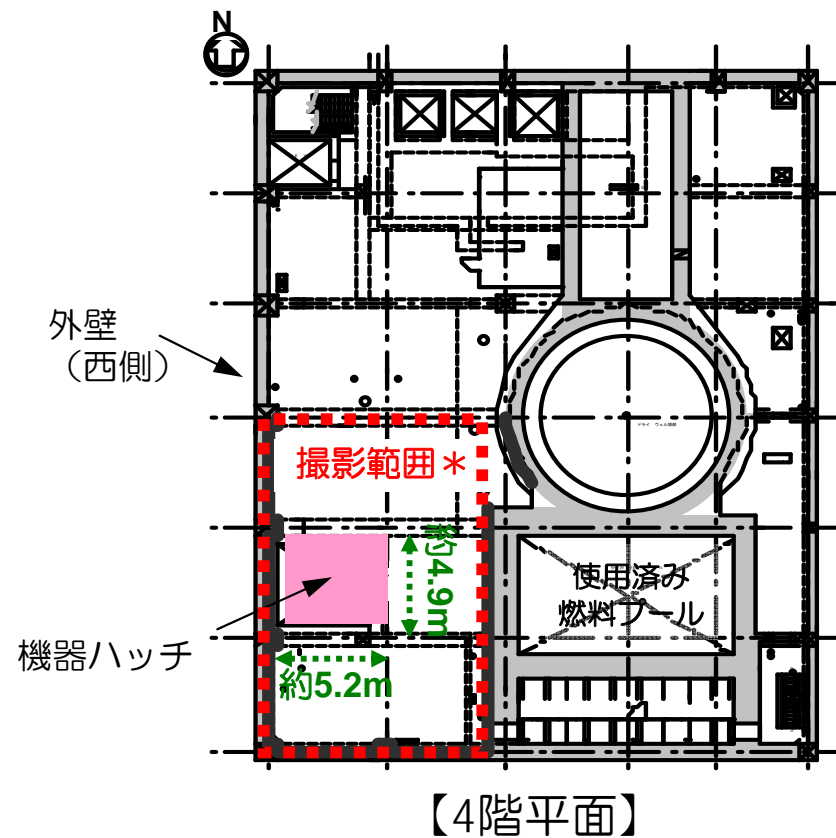


□カメラ+照明装置

- ・カメラ：2台（1台予備）
- ・照明装置：2台

□昇降装置（エア方式伸縮ポール）

- ・伸縮高さ：（最高）約24m
- ・重量：約650kg



* 既存設備が配置されているため、壁面等の撮影可能な範囲は限定される。

3.参考 使用済燃料プールからの燃料取り出し・燃料デブリ取り出しの計画（1号機）

第1期		第2期						第3期		
2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
	建屋カバー解体	HP1-1 HP1-1 2014年度上半期								
	プラン①:	ガレキ撤去等	建屋カバー改造・復旧	燃料取出	建屋カバー撤去・本格コンテナ設置等	燃料デブリ取出				
	プラン②:	ガレキ撤去等	上部コンテナ設置	燃料取出	コンテナ改造等	燃料デブリ取出				
	プラン③:	ガレキ撤去等	燃取カバー設置	燃料取出	燃取カバー撤去・本格コンテナ設置等	燃料デブリ取出				

判断ポイント(HP1-1): 2014年度上半期における判断フロー

